

令和2年度第2回「熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」
議事概要

日時：令和2年5月27日（水）15:00～16:45

場所：WEB会議

出席者（敬称略）

（座長） 小野 雅司

（委員） 朝比奈徳洋 井田 寛子 井上 保介 小川 謙司 川原 貴
小林 教子 日下 博幸 戸田 芳雄 中井 誠一 橋爪 尚泰
堀江 正知 松尾 良太 松本 孝朗 松本 吉郎 三宅 康史
目々澤 肇

（関係省庁オブザーバー） 内閣官房から関係者

（関係自治体オブザーバー） 埼玉県、千葉県、長野県から関係者

（その他オブザーバー） 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

（事務局） 環境省 田原環境保健部長、太田環境安全課長、福嶋補佐、石橋主査
東大気環境生活室長、石関室長補佐、永田係員、大堀環境専門調査員
気象庁 長谷川予報部長、野村企画課長、武藤調査官、加藤環境企画係長
室井業務課長、平原調査官、高橋防災気象官、土井内防災気象官

検討会はWeb会議により行われた。

【議題（1）：第1回検討会でいただいた主なご意見と対応について <資料1>】

資料1を用いて、第1回検討会でいただいた主なご意見と対応方針について環境省より説明。

委員からは、名称は重要であるため公募するなどしてアイデアを募ったらどうかという御意見や、暑さ指数の単位が（℃）で分かりにくいという御意見、色の統一に関する御意見などがあつた。

いただいた御意見を踏まえて事務局の方で引き続き検討を進めていくことになった。

【議題（2）：今夏の「熱中症警戒アラート（試行）」と検証について <資料2-1～2-2>】

資料2-1を用いて、今夏の先行実施について、それぞれ環境省、気象庁より説明。アラート発表時における都県レベルでの情報伝達について、東京都より口頭説明。同じくアラート発表時における基礎自治体レベルでの対応について、熊谷市より資料2-2を用いて説明。

委員からは、行動例の一部の記載について変更した方が良いという御意見があつた。また、熊谷市の取組案については緻密でよく出来ており、他自治体の参考にもなるという御意見などがあつた。いただいた御意見を踏まえて、引き続き先行実施に向けた準備を進めていくことになった。

資料2-3を用いて、今夏の検証について環境省より説明。

委員からは、なるべく夏の暑い記憶がある時期に検証をしたほうが良いといった御意見や、労働現場の検証については建設業や運送業、警備業等の取りこぼしがないようにという御意見があった。いただいた御意見を踏まえて、検証に向けての準備を進めていくことになった。

【議題（3）：中間報告書（案）について <資料3>】

資料3を用いて、中間報告書（案）を環境省より説明。

暑さ指数（℃）の単位の分かりにくさ、表現の仕方の工夫などについての議論があった。中間報告書（案）の内容に関する反対意見は特になく、早急に中間報告書としてとりまとめることとされた。また、本検討会での議論及び中間報告書を踏まえ、今夏に向けた「熱中症警戒アラート（試行）」の準備を進めていくことが確認された。

【議題（4）：その他】

参考資料2～3を用いて、環境省・気象庁事務連絡、厚生労働省事務連絡、消防庁事務連絡、令和2年度の熱中症予防行動の留意点について環境省より説明。

次回の令和2年度第3回検討会は、今夏の「熱中症警戒アラート（試行）」の先行的な実施とアンケートやヒアリング調査を踏まえて、秋以降に開催する予定。

【閉会挨拶】

環境省 田原環境保健部長による挨拶

以上